

第一部 国際シンポジウム

グローバル化時代のコーポレート・ガバナンスと法の役割

Globalizing Corporate Governance and the Role of Law

コーポレート・ガバナンスが、企業価値の向上、ひいては、経済活性化のために重要な役割を果たすという認識が、日本においても高まっています。2015年のコーポレートガバナンス・コードの制定は、その象徴的な出来事であり、また、コーポレート・ガバナンスの国際化の流れを示すものです。

世界のコーポレート・ガバナンスは英米的な基準に収斂する方向を示しているように見えますが、なお、地域ごとにそれぞれの特色を残しています。法制度は、各種の市場環境や社会規範と補完的に、各地域のコーポレート・ガバナンスの在り方に影響を及ぼすものです。

本会議においては、アメリカ、ヨーロッパ、日本以外のアジア諸国との比較において、日本のコーポレート・ガバナンスの特色と今後の方向性について、とくに法制度の役割に着目して、議論を行う予定です。実務においても、今後の戦略を考える上での重要なきっかけとなるでしょう。

It is now recognized in Japan that corporate governance is able to play an important role in improving firm value and stimulating the economy. The establishment of the Japanese corporate governance code in 2015 was not only a symbolic event of such recognition, but also of the trend of globalizing corporate governance. Although corporate governance in the world appears to be converging in the direction towards the Anglo American corporate governance model, each region retains its unique character. Legal systems affect the character of corporate governance, together with markets and social norms. In this conference, we will discuss the characteristics of Japanese corporate governance and its future direction, particularly the role of law, in comparison with American, European, and Asian counterparts.

2017年2月5日（日） 開始13:20～（受付：12:20～）

Venue

一橋大学 一橋講堂 千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

https://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf

PROGRAM

- 13:20-13:30 **開会の辞 Opening Remarks**
葛野 尋之（一橋大学大学院法学研究科・研究科長）
- 13:30-13:45 **イントロダクション Introduction**
宍戸 善一（一橋大学大学院国際企業戦略研究科）
- 13:45-14:30 **アメリカの視点 US Perspective**
カーティス・ミルハウプト（米コロンビア大学ロースクール）
- 14:30-15:15 **ヨーロッパの視点 European Perspective**
エリック・フェアミュレン（蘭ティルブルグ大学）
- 休憩 Break
- 15:45-16:30 **アジアの視点 Asian Perspective**
ダン・プチニアク（シンガポール国立大学）
- 16:30-17:15 **日本のコーポレート・ガバナンス再考 Reconsidering Japanese Corporate Governance**
ブルース・アロンソン（一橋大学大学院国際企業戦略研究科）
- 17:25-18:25 **パネル・ディスカッション Panel Discussion**
司会：宍戸 善一（一橋大学大学院国際企業戦略研究科）
- 18:25-18:30 **おわりに Concluding Remarks**
中窪 裕也（一橋大学大学院国際企業戦略研究科・専攻長）

Language

英語（同時通訳あり）

入場無料

グローバル化時代のコーポレート・ガバナンスと法の役割

Globalizing Corporate Governance and the Role of Law

2017年2月5日（日） 開始13:20～（受付：12:20～）

Speakers & Moderator



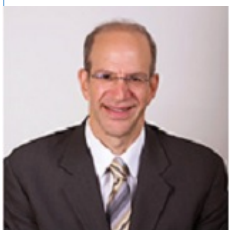
Curtis Milhaupt カーティス・ミルハウプト（米コロンビア大学ロースクール）
Parker Professor of Comparative Corporate Law and Fuyo Professor of Japanese Law at Columbia University
アメリカにおける比較会社法、とりわけ日本法研究の第一人者。中国研究も手がける。



Erik Vermeulen エリック・フェアミュレン（蘭ティルブルグ大学）
Professor of Business & Financial Law at Tilburg Law School and Vice President of Philips Corp.
ヨーロッパにおける比較会社法の第一人者。九州大学において継続的に客員教授を務める。フィリップスの法務担当副社長を兼ね、実務にも精通。



Dan Puchniak ダン・プチニアク（シンガポール国立大学）
Director of the National University of Singapore Center for Asian Studies, Editor-in-Chief of the Asian Journal of Comparative Law, and Associate Professor at the National University of Singapore
カナダ出身で、現在シンガポール国立大学で比較会社法研究を主導する、若手の旗手。精力的にアジア研究（日本研究を含む）を行っている。



Bruce Aronson ブルース・アロンソン（一橋大学大学院国際企業戦略研究科）
Professor of Law at Graduate School of International Corporate Strategy, Hitotsubashi University
ニューヨークの大手法律事務所でパートナー弁護士を務めた後、学界に転身。日米両国で教授経験を持ち、バイリンガルで日米のコーポレート・ガバナンス実務に精通。



Zenichi Shishido 宍戸 善一（一橋大学大学院国際企業戦略研究科）
Professor of Law at Graduate School of International Corporate Strategy, Hitotsubashi University
比較コーポレート・ガバナンスの国際会議を多数企画。カリフォルニア大学バークレー校において継続的に客員教授を務める。

申込方法

下記要領にて、E-mailでお申込ください

●氏名 ●所属 ●メールアドレス

宛先 bl-ics@ics.hit-u.ac.jp

主催：一橋大学大学院法学研究科グローバル・ロー研究センター